



障害者の社会参加への支援について（平成17年9月定例会）

周南市の楽団「みかんの花」は、先日、奈良県で行われた「わたぼうし音楽祭」において、「祈り」という彼らのオリジナル曲が見事「わたぼうし大賞」を受賞しました。

そして、11月に上海で行われる「アジア・太平洋わたぼうし音楽祭」に日本代表として出場することが決定しました。

彼らは、このような大賞を受賞することで大きな自信や誇りが生まれ、今後の人生においても、輝きを増してくると思います。

また、スポーツ界においても障害を持っている人達の活躍には目をみはるものがあります。特に、毎年、京都市で行われています都道府県対抗車椅子駅伝大会で、山口県チームは、平成2年の第1回大会以来、16回連続出場しており、優勝が3回、全大会入賞という好成績を修めています。

障害者が山口県代表として全国大会に出場する場合など、障害者の社会参加についてもっと積極的に支援すべきだと思いますが、ご見解をお伺い致します。

【知事答弁】

先般、私も、「わたぼうし大賞」受賞曲「祈り」をお聴きし、感激をいたしました。

平成23年に本県で開催する全国障害者スポーツ大会もありますので、こういうことも見据えながら、強化指定選手の全国大会への出場を支援するなど、スポーツや文化・芸術活動への参加を一層推進するように、努力を重ねてまいりたいと考えております。

また、障害者一人ひとりのニーズにあった社会就労や雇用の促進を図るなどについても努力を重ね、社会参加の促進に積極的に努めてまいります。